

請 願

飯田市議会  
議長 井坪 隆 殿

2021年5月28日



伊那谷健康友の会  
会長 伊東 正子  
(連絡先) 飯田市鼎中平 1905-5  
電話 0265 (53) 7252

紹介議員 エリカ

## 【請願書】

# 「後期高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める」 意見書を国に提出してください

### 【請願の趣旨】

2019年12月19日に発表された政府の全世代型社会保障検討会議中間報告で、現在「原則1割」の75才以上高齢者の医療窓口負担について「負担能力に応じたものへと改革していく」と強調。「一定所得以上」の人を対象とした「2割負担」を導入することを盛り込みました。今後、「団塊の世代」が75歳以上になり始める2022年までに実施できるよう法制上の措置を講じるとしています。

同中間報告は、「社会保障のためだ」と消費税を10%にまで引き上げながら新たな負担を高齢者に押し付ける内容です。これでは高齢者の生活はますます苦しくなってしまいます。高齢者の所得の8割は公的年金が占め、約7割の世帯は公的年金のみで生活しています。その年金も減らされ続けて2020年には2013年比で実質支給額は6.4%も減っています。さらに、高齢者の貧困化の深まりで、生活保護を受給している高齢者世帯は、1.2倍以上に増えています。私たち伊那谷健康友の会（「健康づくり」と「安心して住み続けられるまちづくり」を目的に活動し会員数は11,481人。75歳以上の方は約40%）が取り組んだ、アンケート（75歳以上医療費窓口負担2割化に関するアンケート・511人より回収）では、現在でも医療機関を受診するために「生活費を切り詰めている」「貯金の取り崩した」「借金をしている」等の回答が55%、「受診を我慢」「中断」したことがあるとの回答は9%でした。そして、医療費が2割になったら「とても負担」「少し負担」の回答は78%でした。これ以上の負担増は大幅な受診抑制を引き起こし、高齢者の生存権が脅かされることとなります。

以上の趣旨から、下記事項につき、地方自治法第99条にもとづく国に対する意見書を提出していただけるよう請願いたします。

### 【請願項目】

- 1、後期高齢者の医療費窓口負担については現状維持に努めること

以上

## 後期高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める意見書

2019年12月19日に発表された政府の全世代型社会保障検討会議中間報告で、現在「原則1割」の75才以上高齢者の医療窓口負担について「負担能力に応じたものへと改革していく」と強調。「一定所得以上」の人を対象とした「2割負担」を導入することを盛り込みました。今後、「団塊の世代」が75歳以上になり始める2022年までに実施できるよう法制上の措置を講じるとしています。

同中間報告は、「社会保障のためだ」と消費税を10%にまで引き上げながら新たな負担を高齢者に押し付ける内容です。これでは高齢者の生活はますます苦しくなってしまいます。

高齢者の所得の8割は公的年金が占め、約7割の世帯は公的年金のみで生活しています。その年金も減らされ続けて2020年には2013年比で実質支給額は6.4%も減っています。さらに、高齢者の貧困化の深まりで、生活保護を受給している高齢者世帯は、1.2倍以上に増えています。現在でも医療機関を受診するために「生活費を切り詰め」「貯金の取り崩し」「借金」せざるを得ない、「受診を我慢」「中断」したことがある高齢者が存在しています。

これ以上の負担増は大幅な受診抑制を引き起こし、高齢者の生存権が脅かされることになります。

以上の趣旨より、下記の項目について意見書を提出します。。

### 記

1、後期高齢者の医療費窓口負担については現状維持に努めること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

年 月 日

〇〇議会 議長 〇〇〇〇

内閣総理大臣 宛

厚生労働大臣 宛